

毛生ズ、

〔和漢三才圖會九十四末〕鷺草 鷺草佐岐 連鷺草豆禮 共俗稱也、
按鷺草奧州處處有之、春生苗、葉如麥、嫩苗高尺許、六月抽莖、開花、正白色如雪、形似鷺鳥故名、

連鷺草豆禮 與鷺草一類異種、性惡濕、喜陰處、赤土、原非濕草、高五七寸、葉略大似万年青、嫩葉而淺

青色、夏開花、白色帶微青、其形似鷺、十有餘群、飛故名、

赤箭

〔本草和名六〕赤箭蘇敬注云、一名離母、一名鬼督郵、仁謂、一名神草、一名獨搖、一名當苦、一名味子、或作

一名鬼箭已上五名 和名乎止乎止之、一名加美乃也、

〔倭名類聚抄二十〕赤箭 蘇敬本草注云、赤箭和名乎止乎止之、一名加美乃、夜加良、遠看似箭有羽故以名之、

〔箋注倭名類聚抄十〕陶注云、按此草亦是芝類、云莖赤如箭、葉生其端、根如人足、又云、如芋、有十二

子為衛、有風不動、無風自搖、如此亦非俗所見、蘇注又云、根皮肉汁與天門冬同、惟無心脈、去根五六

寸、有十餘子、衛似芋、其實似苦楝子、核作五六稜、中肉如麪、且暴則枯萎也、藥性論云、赤箭脂一名天

麻、衍義云、赤箭天麻苗也、開寶本草云、天麻葉如芍藥而小、當中抽一莖、直上如箭、莖端結實、狀若

續隨子、至葉枯時、子黃熟、其根連一二十枚、猶如天門冬之類、形如黃瓜、亦如蘆菔、大小不定、圖經云、

赤箭、四月開花、此草為物下根如芋、魁有游子十二枚、周環之、去大魁數尺、雖相須而實不連、但以氣

相屬耳、如菟絲之草下有伏菟之根、無此則絲不得上、亦不相屬也、

〔古今要覽稿草木〕をとくし天麻

乎止乎止之名義、いまだ詳ならず、按に古語に多豆多豆之といふ詞を、後世は多止多止之とい

へど、此乎止乎止之とは其義似よるべくもあらず、又赤箭は前年に植じもの腐敗して、今年に至

れば、其産地をかへて、思もよらぬ所に生ずるものなれば、前年を乎止止之といひ、前日を乎都比

などいへるによりて、此名義をとかまくおもへども、いまだ其たしかなる考を得ず、加美乃也